

夏休みの活動レポート

夏合宿 白馬岳 -北アルプス-

日程:7月29日~8月1日 3泊4日

コース:東京→長野→柵池→白馬乗鞍岳→白馬大池(泊)→小蓮華岳→白馬岳→白馬山荘(泊)→白馬岳→白馬大池→柵池高原(泊)→柵池自然園→白馬→立川(解散)

昨年の夏合宿は東北の森吉山、秋田駒ヶ岳でしたが、今年も高山植物の宝庫である白馬岳に登りました。3000m近い山なので、トレーニングを高尾山、御岳山、秩父などで6回行い、基礎体力をつけました。

1日目は柵池から天狗原、白馬乗鞍岳を経由して白馬大池まで登りました。残雪も多く、ハクソウゲやチングルマをはじめ沢山の植物を観察しながら登りました。2日目は雷鳥坂を高山植物を観察しながらゆっくりと4時間かけて白馬岳に登りました。ガスが出て展望は悪かったのですが、時折見える大きな雪倉岳には感動しました。夕方と早朝にはウツクシギも観察できました。3日目は逆コースを柵池まで戻りました。天気が良く、素晴らしい眺めと、高山植物を観察しながらの楽しいコースでした。最終日は柵池自然園でニッコウキスゲやウツクシギなどを観察して下山しました。4日間たっぷりアルプスの自然に触れた合宿でした。



白馬岳山頂(2933m)にて



小蓮華岳に向かう。素晴らしい展望



白馬大池から小蓮華岳方面を見る



コマクサ



ゴゼンタチバナ



チングルマ



ウツクシギ



ニッコウキスゲ満開の柵池自然園

オリエンテーリング アジアジュニアユース選手権大会

おめでとう！

小笠原鈴奈選手(生物部・中学2年)

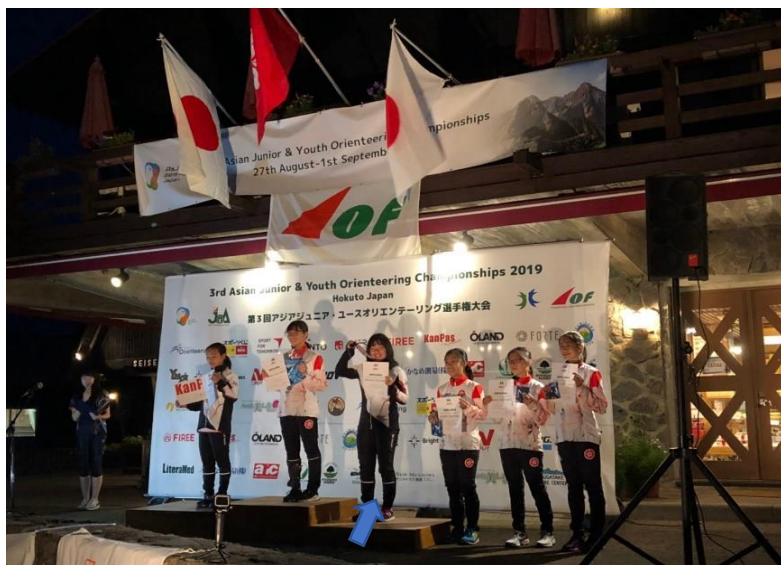
団体(日本チーム)2位 (W14M14 クラス)

個人(W14) 3位 銅メダル！

銀メダル！

8月28日から31日まで、オリエンテーリング・アジアジュニアユース選手権大会が行われました。今年のアジア大会は日本で開催され、会場はハヶ岳の裾野に広がる山梨県北杜市です。本校生物部WILDLIFEの小笠原鈴奈さん(中2)は、本校入学後から生物部の動物調査をするかわら、地図読みが必要とオリエンテーリングをはじめ、現在選手歴2年目です。日本選手団のメンバーとなってからも厳しい練習を重ね、8月28日のスプリント大会では成績が振るわなかったものの、30日の国別対抗リレーでは第4走者となり、日本チームは見事2位を獲得しました。1位は香港チームです。また31日に行われたミドル大会の個人レースでは、W14で第3位となり、「外国人の選手とも仲良くなれ、とても充実した大会でした」と、喜びをかみしめていました。中国選手団の応援のすごさにも負けられないような声援をみんなでおくった甲斐もあり、メダルが取れたことは本当に素晴らしかったです。

同時に開催された「清里国際オリエンテーリング3日間大会」では、本校生物部WILDLIFEの栗原萌花さん(中2)がW14クラスで第2位になり、本校では女子勢の活躍が目立ちました。



上段・左下…小笠原さん
右下…栗原さん

生物写真コンテスト

松本敬君(中2) 全国大会最優秀賞!

生き物写真1トルリーグで、生物部中学2年の松本敬君が関東ブロックを1位で通過し、8月10日の全国大会で、見事「最優秀賞」を獲得しました。青梅で観察したタヌキやアナグマ、キツネの写真5枚組で「命の循環」をテーマにしたものです。

同コンテストは昆虫写真家の第一人者、海野和男氏が審査委員長を務め、ジュニア自然写真分野の登竜門として知られています。松本君には賞状、楯、副賞として一眼レフカメラが贈られ、カメラ雑誌や信濃毎日新聞社などで報じられました。



最優秀
作品賞

最優秀作品賞

★組写真



関東地区

「東京の里山に生きる」

中学2年生 松本 敬 さん (まつもと けい)

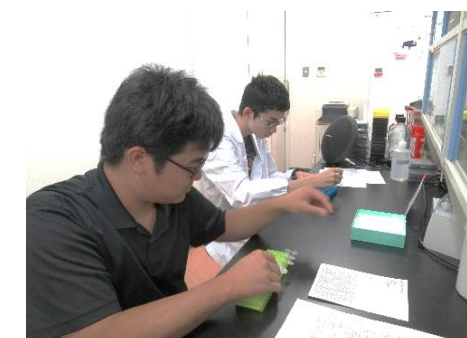


講評 (審査委員長 海野 和男)

東京の身近な場所にキツネやタヌキ、アナグマといった野生動物が住んでいることだけでも驚かされますが、その糞を栄養として、植物が芽生えるという命の循環を見事な構成力で組み写真にしました。けもの道で動物たちが現れるのを息を凝らしてじっと待ち続ける作者の姿が写真からも見えてきます。街灯の光で足えられた動物たちの野性味あふれる表情が素晴らしいです。まるで、動物劇場のようにも見える素晴らしい作品だと思います。

ムササビのストレスホルモンの研究

この夏から生物部ムササビ研究チームが取り組んでいるのは、ホルモンの研究です。人間にもあるストレスですが、ムササビがどう



いう状況下で、どのくらいのストレスを感じているかは未知の分野です。その道の研究の第一人者で、日本獣医生命科学大学の

鳥本樹先生の指導を受けながら大学の研究室で実験を始めました。大学4年生でムササビのストレスを研究している岩本さんにもいろいろな技術やテクニックを教わりながら、マイクロピペットを操作したり、遠心分離機や分光光度計で測定したりしました。夏休みは2日間指導を受けましたが、今後飼育個体のエサの量によるストレスの違いを調べていく予定です。またムササビ行動班も体内時計の解明をはじめます!

